

日本労働總同盟 全國事務會議
附會 實際 會長 挨拶 要旨

労働組合の進歩発達に伴ひ、不協的なる大勢に、諸般の方針を組合
内部に徹底せしむるため、質実なる會議を必要とするは論を待たざる處にあ
る。我日本労働總同盟が昨年度大會に於て、前年 隔年 全國事務會議の
開催を決議し、是は此の報告に外ならず。同じく本日その第一回會議に
開き得るに至りたるは同志諸君と共に大なる喜びを感じたる次第がある。
本會議の協定事項が逐次、諸君の討議を審かきを以て先立ち、以下そ
の根本精神に於て若干の言をせん。

先づ第一に組合財政の合理化である。抑々組合員が信頼を満足を以て組合
費を納入するに否やは、一つに懸つて組合費が正値に収支且つ管理されるや
否やに在り。これ労働組合の根本問題であつて、細目に亘りこれが具体化を
圖るのことは會議の最も重要任務とするところがある。

第二は組合行政組織の改善である。各種機関を整備統一し、會務の迅速
正確を期する。共に本國盟の民主的中央集権を具現して、全國的規律
統制を築くし、以て戦闘力の集中を圖るは刻下の急務である。

団体協約の普及は本國盟の中心政策であるが、これ労働條件の維持に
善し産業平和を兩立せしめ、更に進んで産業協力を實現する捷徑なりと
信するが故である。而して之に依り、戦闘資金の節約を計り、以て各種福利事